



今月の記事

人権を守る仕組み

4月の愛の園

ユニットケアの壺

リレーエッセイ

5-6月の予定



人としての大切な権利を守ります

人権擁護推進員
千葉明大

愛の園では「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」という、和歌山県と企業、団体が人権尊重社会づくり協定を結び、一緒になって人権尊重への活動を行っています。

この協定は、和歌山県人権尊重社会づくり条例が基になっており、この条例では人権尊重の社会づくりに関し、県及び県民の責務を明らかにするとともに、その施策の推進に必要な事項を定め、もってすべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現を図ることを目的とするとされています。愛の園は3年前からこの協定を締結しており、今年4月に締結の更新を行いました。今現在では約230の企業・団体が協定を結んでいます。協定の内容として、全職員を対象とした人権研修実施、県からの人権啓発の広報誌の全部署への配布などを行うことにより、職員の人権に対する意識の向上に努めています。愛の園玄関ホールに協定書を掲示しておりますので是非

ご覧ください。

また、和歌山県では地域主権一括法に基づき介護老人施設、介護サービス事業所の設置基準を条例で制定して人権擁護推進員を配置することとしており、昨年度より愛の園で2名、デイサービスセンターで1名の推進員を職員の中から指名し配置しています。主な活動内容としては、年に1回以上の職員を対象とした人権擁護に係る研修や外部研修からの伝達研修などを実施しています。

施設における高齢者虐待などが問題となっている中、愛の園では人権擁護推進員が中心となって高齢者虐待防止をはじめとする人権擁護に係る知識、技能の向上を図っていきます。



歯をいれて 若葉に「おはよう」今日の幸
鉢植えの 若葉に向かふ 車イス

9ユニット 根来美苗さん作

4月の愛の園から



入居者の方々とお花見に出掛けました。皆さん笑顔で記念撮影しましたよ。(4/7)



誕生日をお祝いしご家族と共に記念撮影。とても良い笑顔で幸せを感じます。(4/13)



イースターエッグの準備を入居者の皆さん・ボランティアの皆さんと行いました。(4/19)



4月のマリア会です。山根司祭のお話を真剣に聞き入る入居者の皆さん。(4/22)



ユニットリーダー

ユニットケアの壺(4) ゆっくり、ゆったり

小山智恵美

ユニットケアを始めた頃は「ユニットケアとは個室、個別対応」と簡単に考えていましたが、ユニットケアについて知れば知るほど難しく、ショートステイでは何からユニットケアを考えていくかに悩むこともありました。

まずユニット職員にも個別ケアを伝え、理解してもらうということから始めました。

ショートステイでは、なかなか個人の把握、生活リズムを職員が1泊2日、2泊3日のご利用で理解することは難しいと思っていましたが、24時間シートなどで個人の生活リズムを把握します。長期入居の場合と少し考え方は違いますが、ショートステイは生活の場と言うよりくつろぎの場、楽しい場所だと思っ泊まりに来て下さり、楽しみにしてもらえようと思ひ、リビングや玄関などにその月に合った飾り付けや設えなどを考えて飾っています。

以前は利用者の方がなぜ落ち着けなかったのかに考えが及ばず、勤務に入った職員がバタバタ動いて仕事をしていることなどもありました。今では一人の職員が利用者に寄り添ってリビングで談笑したり作品を作ったりなどをし、別の職員が掃除や片づけなどの仕事をするというように職員もゆっくりゆったりとした気持ちで仕事をしており、利用者の皆さんも落ち着いて過ごしていただいています。



居室前の生花や観葉植物



季節感を感じるユニット入口の設え

リレーエッセイ(22)「思い出ポロポロ日記」

介護職員

吉本さやか

家の押入れには大きな衣装ケースに入った膨大な量の日記帳があります。私と姉が3歳から書き溜めたものです。一つ上の姉が書いているのを見て、何でもマネしたがる私が母に「私も書きたい」と言ったのがきっかけで絵日記から始まり書き続けてきました。小学校に入ってからは先生と私の交換日記となりました。どの先生も毎日帰り際に赤ペンで返事を書いて下さった日記を渡してくれ、それを読むのが楽しみでもあり続けていました。

時には直接相談できない照れくさい話も日記だと素直に書けました。また新しい日記帳を選ぶのも楽しみの一つでした。今では母と姉で「懐かしいね」と笑いながら読み返していると、あっという間に時間が経つのも忘れて読み入っています。父もまだ字を覚えてた頃の日記を見て「こんな汚い字をよく読める

ね」と笑っていました。ほとんど他愛のない日常を書いていて、その日の雰囲気をおぼろげに思い出すが、中には「これなんのことやろ」と顔を見合す不思議な事も書いていてどんな本よりも飽きないものです。

私が日記をつけておいて良かったと思うのは自分の古い日記を読み返す時です。そのことによって友人や両親、先生との関わりや出来事の一つ一つに感謝でき、懐かしい思い出として蘇ります。平凡で何の取り柄もない日記ですが私にとっては宝物です。日記を書くことを教えてくれ大事に残してくれた母と、毎日返信して下さった先生に感謝し30年後の楽しみにこれからも書き続けたいと思います。

次は8ユニットの木村しずかさんにバトンタッチします。



思い出が詰まった写真や日記

「キリストの愛を以て
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

5~6月の愛の園

- 11(日) 日曜礼拝 おめかしクラブ
- 16(金) 社協ボランティア来園
- 18(日) 日曜礼拝
- 20(火) ひまわり会
- 21(水) 手芸サークル
- 22(木) やまびこ会
- 25(日) 日曜礼拝
- 27(火) マリア会
- 28(水) 関西大学 OB 落語会 歯科診療
- 29(木) アドベンチャーワールド遠足
やまびこ会

- 3(火) マリア会
- 5(木) やまびこ会

編集者から

今年も神愛会の各事業所が集い「2014年度福祉サービス苦情解決第三者委員・苦情対策委員合同委員会」を行いました。この会は、前年度の各事業所での苦情受付状況や事故事例状況報告をしています。

昨年度は一昨年の事故件数93件に比べて76件と減少しましたが、ご家族の皆様が苦情や相談を遠慮なさっているのではないかとことも課題として挙げられました。

生活相談員は苦情相談窓口の役割を担っています。今後もより丁寧な相談支援を心掛けて対応していきたいと考えています。(C)